



# 永福学園通信



令和4年6月30日

R4 第3号

東京都立永福学園  
校長 緒方 直彦



## 各教科等の指導における「習得・活用・探究」



学習指導要領の改訂に伴いアクティブ・ラーニングが注目されています。本号では、私の「授業づくり」「授業改善」についての考えを紹介したいと思います。

平成20年1月、中央教育審議会答申において「習得・活用・探究」が示されました。「習得・活用・探究」は、学習活動の類型です。通常の学級における学習だけでなく、特別支援教育においても、この「習得・活用・探究」の視点で学習活動を計画し、指導の工夫を図ることは重要だと考えます。

当初（平成20年）は、各教科等において基礎的・基本的な知識・技能を「習得」させるとともに、知識・技能を「活用」する学習活動を行い、総合的な学習の時間における教科等を横断した問題解決的な学習において「探究」活動へと発展させると示されましたが、平成31年度の答申では、各教科等において「習得・活用・探究」という学習過程を通じて、より質の高い「深い学び」につなげ、それにより児童・生徒の資質・能力の3つの柱の育成を図ることが重要だと示されました。

つまり、各教科等の指導において、深い学びの実現のために、「習得・活用・探究」という学習過程を踏まえることが重要だということです。

障害のある児童・生徒の学習では、まず「習得」に関しての困難性が顕著に現れます。

各教員は、基礎的・基本的な知識・技能の「習得」に関する指導において、個々の児童・生徒の実態に応じて指導方法や教材等を工夫したり、支援をしたりしています。

そして、身に付けた知識・技能を生かして「活用」につなげ、思考力・判断力・表現力を培うために日常生活を想定した取組や就業技術科では「永福学園手帳」の活用を図っています。また、「探究」においては、自ら課題を見付けたり、気付いたりし、習得した知識や技能を活用して解決することをねらい、SDGsに関する学習などにも取り組んでいます。私は、これからの授業改善については、この「探究」の充実を図ることが、自立と社会参加の面からも必要不可欠になると考えます。そして、その取り組みにより全ての児童・生徒が、豊かな社会生活を送れる知識や姿勢を身に付けて欲しいと願っています。最後になりますが、これからの教育の在り方としての「令和の日本型学校教育」において「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることの重要性が示されました。このような中、本校では、これからの時代の教員に求められる資質・能力として挙げられている「自律的に学ぶ力」や「時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質・能力を生涯にわたって高めていく力」を全ての教員が身に付けられるよう、新たな教育課題の解決に資する実践を進めるよう努めてまいります。

校長 緒方 直彦



One school!! One team!!



## 教育課程・授業の特色について

### 【肢体不自由教育部門】

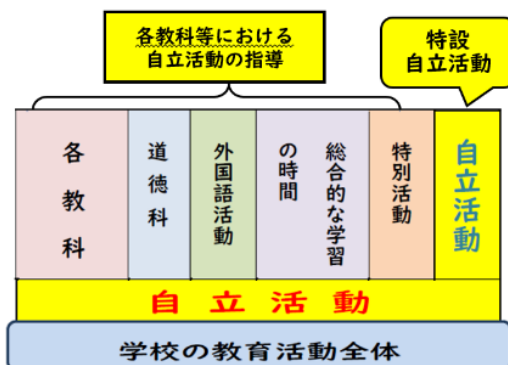
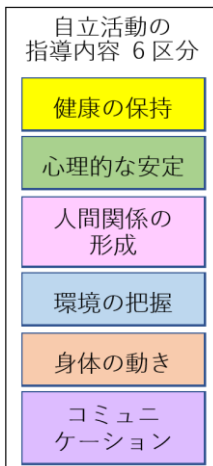
特別支援学校や特別支援学級には、特別に設けられた指導領域として「自立活動」の時間があります。自立活動とは、『自立を目指し、学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な、知識・技能、態度及び習慣を養う』指導領域です。

この場合の「自立」とは、障害の状態や発達の段階に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きようとすることです。

自立活動の指導は、学校の教育活動全体を通じて行われるもので、指導内容は6つの区分からなります。主に自立活動室で学習する「特設自立活動」は、その一部です。そのほかに、

学習グループで日々取り組んでいる「個別課題学習」なども自立活動です。さらに、図のように、教科等の学習の中でも、個々の障害の状態に応じた困難さの改善克服に向けた学習、自立を目指した学習を行っています。

指導教諭 市宮 環美



### 【就業技術科】

**特色①**「普通教科」と「職業に関する専門教科」(以下「専門教科」)を2本の柱として授業を行っています。

専門教科の授業で学ぶ内容を習得すれば就職できる、というわけではなく、普通教科での学習を通して、社会生活に必要な幅広い知識を身に付け、専門教科での学習の中で生かしていくことで、働き続けていく力を付けることが必要です。

**特色②**一昨年度、沖縄への修学旅行の事前学習として行った「海洋ごみ」に関する講演会をきっかけに、SDGsについて生徒の関心が広がりました。その後、各クラスで「つくる責任つかう責任」や「海の豊かさを守ろう」などテーマを決め、課題解決を通して、自ら学ぶ態度、学び続ける姿勢を身に付ける学習を深めることができました。

また、発表会を行い、各クラスでまとめた成果は校内に掲示し、それを後輩が真剣に見ている姿も見られました。

この学習は、現在の3年生、2年生にも引き継がれ、新たな永福学園の伝統の一つに加わっています。

指導教諭 鹿島田 真由美

<時間割例> 1年生

	月	火	水	木	金
	ホームルーム・清掃				
1	保健	専門教科	英語	専門教科	音楽
2	体育		職業		社会
3	美術	数学	国語	数学	
4		国語		数学	
	給食				
5	国語	専門教科	保健	専門教科	家庭
6	情報		体育		理科
7	キャリアガイダンス	LHR			
	ホームルーム				

<専門教科>5コース

- ・ビルクリーニング
- ・ロジスティクス      ・事務
- ・食品      ・福祉

### 東京都立永福学園

#### ○肢体不自由教育部門

副校長 秋本 友美      小松 弘喜  
主幹教諭 池田 佳信

#### ○就業技術科

副校長 山崎 裕之  
主幹教諭 土田 律子



〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380

ファクシミリ 03-3323-1381

ホームページ

<http://www.eifuku-sh.metro.tokyo.jp>